

荒川第一調節池

～洪水を防ぎつつ、サクラソウの自生地を守る～

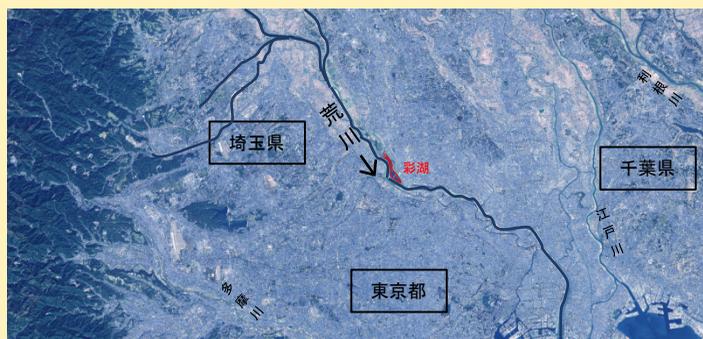
荒川下流域の水害を軽減し、安定した水の供給により首都圏の生活を支えています。



荒川第一調節池の目的と諸元

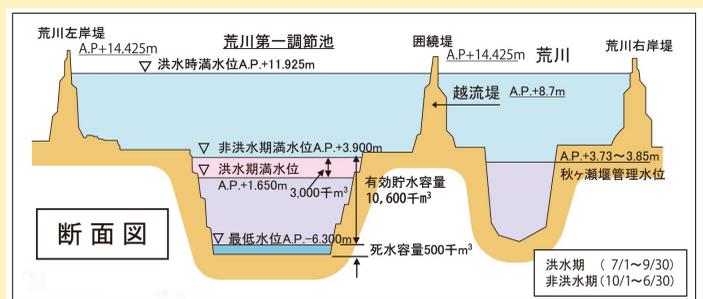
戸田市・さいたま市・和光市・朝霞市・志木市にまたがり、秋ヶ瀬公園と人造湖「彩湖」を含めた一帯が荒川第一調節池です。荒川第一調節池は、広大な川幅を有する荒川中流部に位置し、荒川の洪水や利水補給といった重要な役割を担っている施設で、2003（平成15）年度に完成しました。

1997（平成9）年3月に貯水池「彩湖」を完成させ、現在は水の統合的な管理の下で都市用水を供給しています。



【荒川第一調節池諸元】

- ・事業期間 : 昭和45年から平成16年
- ・位置 : 笹目橋～羽根倉橋
- ・面積 : 第一調節池5.8km²
(荒川貯水池1.18km²)
- ・総貯水容量 : 1110万m³
- ・洪水調節容量 : 約3900万m³



▶ 治水機能

越流堤から洪水が流入し効果的にピーク流量を低減させ、荒川下流域の水害の軽減を図ります。



洪水をためる荒川調節池

【平常時】

- 平常時の調節池排水門は開いています。

【洪水時】

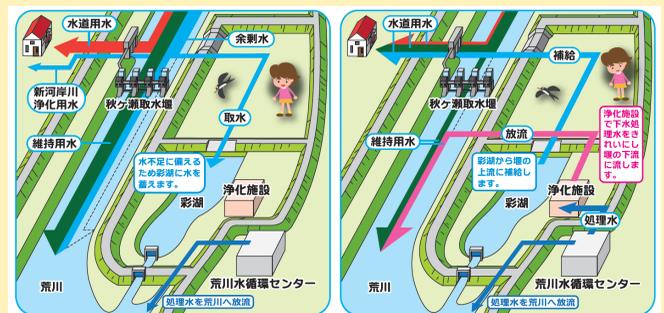
- 洪水時の河川水位上昇に伴い、河川水位が上流側の越流堤から調節池内に流れ込み、洪水の一部を調節池に貯め、下流へ流れる洪水量を減らします。

【洪水後】

- 調節池内に貯まった水は、洪水のピークが過ぎて河川水位が低下した後、排水門から河川に流します。

▶ 利水機能

荒川本川の秋ヶ瀬取水堰地点の流量が、東京都と埼玉県の水道用水必要量より不足する場合には、上流ダム群による補給の他に、荒川第一調節池にある浄化施設で下水処理水を浄化し、秋ヶ瀬取水堰下流に放流して河川水を振替取水します。また、彩湖（荒川貯水池）に貯留されている水を秋ヶ瀬取水堰上流に補給することで、水道用水に必要な量を確保することができます。



荒川の水が足りている時

荒川の水が足りない時

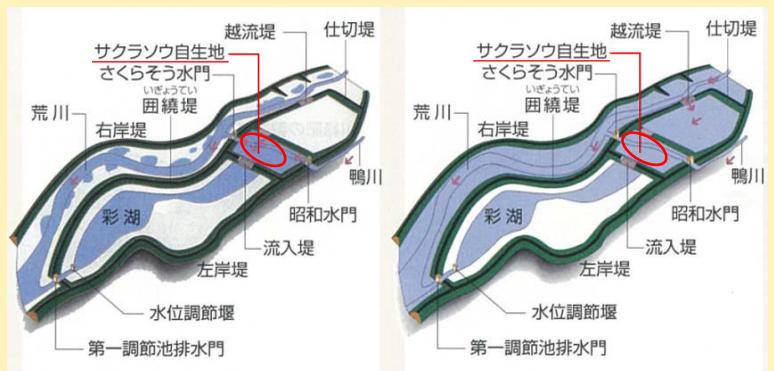
▶ 環境機能

「田島ヶ原サクラソウ自生地」は、国の特別天然記念物に指定されており、荒川第一調節池内の肥沃な低湿地（氾濫原）にあります。

かつては荒川流域の各所にサクラソウ自生地がありましたが、現存する大きな自生地は田島ヶ原だけとなり、貴重な生育環境となっています。

このサクラソウ自生地を保全するため、冠水頻度を変化させないよう、荒川第一調節池の洪水調節を行っています。

洪水初期又は小洪水期は、さくらそう水門を開放しておき、従前と冠水頻度を変えないことによりサクラソウ自生地の自然環境を変化させないようにし、洪水中期又は中洪水期は、荒川本川の水位上昇により、昭和水門、さくらそう水門は閉められ、越流堤より荒川の洪水の流入が行われています。



1 さくらそう水門から洪水の流入が始まる

2 さくらそう水門が閉まり、越流堤から流入が始まる

サクラソウの生育環境に配慮した洪水調節

アクセス

彩湖（荒川第一調節池）

交通：JR埼京線「北戸田駅」より、国際興業バス「西川口駅」行き「修行目」下車、徒歩約10分

住所：埼玉県戸田市大字内谷2887番地（彩湖自然学習センター）



彩湖（荒川第一調節池）

